

Newsletter

—学会会報—

The Japanese Society for Curriculum Studies

発行：日本カリキュラム学会事務局

目 次

〈理事会報告 (2016 年 3 月 6 日)〉

I. 各種委員会報告

II. 第 27 回大会 (香川大学教育学部附属高松小学校・香川大学教育学部) について

III. 30 周年記念事業 出版準備委員会について

IV. 第 28 回大会開催校について

V. 事務局報告

〈研究・広報委員会からのお知らせ〉

〈事務局からのお知らせ〉

理事会報告 (2016 年 3 月 6 日)

定例理事会が 3 月 6 日 (日) 13 時から 15 時 10 分まで、お茶の水女子大学文教育学部 1 号館第一会議室にて開催されました。理事 18 名に加えて、次回大会開催校 (香川大学教育学部附属高松小学校・香川大学教育学部) より、北林雅洋校長が参加されました。

I 各種委員会報告

1. 紀要編集委員会 (研究奨励賞審査委員会含む)

橋本委員長より、資料に基づき『カリキュラム研究』第 25 号の審査・掲載等 (投稿論文 5 本、特集論文 6 本他)、研究奨励賞の審査にむけた手続きの進捗状況について報告が行われた。

また、CiNii から J-STAGE への移行に伴い発生する事務業務の委託について審議の結果、委託先業者は城島印刷に、予算費目を紀要編集と別立てにすることが決定された。

2. 国際交流委員会

的場委員長より、資料に基づき、①平成 28 年度大会における課題研究Ⅱのテーマの変更、②

カリキュラム研究情報の提供として国際的な動向の紹介、③国際交流委員会の活動として国際学会の案内および ERIC への投稿情報提供をすることが提案された。④30 周年行事への貢献について提案がなされた。①②③について承認された。

3. 研究・広報委員会

西岡副委員長より、資料 3 に基づき『カリキュラム研究』第 25 号より「特集」論文を 6 本掲載することが報告された。また、委員会の活動報告と活動計画への提案がなされた。次年度以降は「研究集会」を理事会と同日開催することについて提案がなされた（継続審議）。次号以降の「特集」については、25 号発刊後に判断することとされた。

Ⅱ 第27回大会（香川大学教育学部附属高松小学校・香川大学教育学部）について

1. 開催校より

開催校北林大会実行委員長より、資料4に基づき、大会の実施計画および準備状況について報告された。黒田理事より、大会準備の詳細項目について確認依頼および提案がなされ、発表資格（会費納入済みの会員）、大会参加費、広告掲載依頼（前回掲載業者に加えて理事が新規開拓に協力）、自由研究発表司会者、プログラム、シンポジウムについて審議・確認された。

<大会日程>

◆前日 2016年7月1日(金) 15:00~17:00 理事会(サンポート55会議室)

◆第1日目 2016年7月2日(土) 8:30~開場(香川大学教育学部附属高松小学校)

受付: 12:00~13:45(香川大学415講義室前)

9:00	附属高松小学校授業公開(体育館) 新領域「創造活動」		小学校
9:45	休憩		
10:00	公開シンポジウム(体育館) 授業を研究する, カリキュラムを研究する~附属高松小学校の授業実践をもとにして~		
12:00	昼食 [学食]・受付(香川大学)		大学
13:45	自由研究発表 I		
15:45	休憩		
16:00	課題研究 I	課題研究 II	
18:00	移動		
18:15	研究交流会 [大学生協ソラミ]		
20:15			

◆第2日目

2016年7月3日(日)

受付: 9:30~14:00(香川大学415講義室前)

10:00	自由研究発表 II		大学
12:00	移動		
12:15	総会(415講義室)・昼食		
13:30	課題研究 III	課題研究 IV	
15:30			

2. 課題研究について

(1) 課題研究Ⅰ（藤川理事、西岡理事）

藤川理事より、資料に基づき、発表者を再検討すること、村川理事が課題研究ⅣからⅠのコーディネーターに移ることについて提案され、引き続き検討することとされた。

(2) 課題研究Ⅱ（的場理事、片上理事）

的場理事より、資料に基づき、タイトル変更、提案者、テーマについて提案され、引き続き検討することとされた。

(3) 課題研究Ⅲ（小泉理事、石田理事）

小泉理事より、資料に基づき、テーマ、趣旨、提案者等について提案され、引き続き検討することとされた。

(4) 課題研究Ⅳ（澤田理事、浅沼理事）

澤田理事より、資料に基づき、趣旨、発表者（海外在住者含む）等について提案され、引き続き検討することとされた。

課題研究における非会員の発表者の人数（1課題1人まで）が確認された。

○自由研究発表申込〆切 2016年5月10日（火）

○発表要旨収録原稿〆切 2016年6月7日（火）

Ⅲ 30周年記念事業 出版準備委員会について

長尾代表理事より以下の件について提案された。準備委員会を10名程度で構成。委員を各種委員会および代表理事から推薦する。事務局より1名参加。出版内容、出版社の検討が必要。次回理事会同日に第1回準備委員会を開催する。

Ⅳ 第28回大会開催校について

長尾代表理事より、岡山大学から開催の内諾を得たことについて報告された。

Ⅴ 事務局報告

1. 会員現況報告（2016年2月28日時点）

■会員総数 702名（一般会員611名、学生会員84名、団体会員7件）

※連絡先不明者8名、会員一時資格停止者29名を含む。

【内訳】新規入会者：2名、強制退会再入会希望者：2名、退会者：3名、一時停止資格者：29名、連絡先不明者：8名 注：前回は703名

■会費納入率（2016年2月23日時点）

2015年度：完納584名 未納89名 計673名 86.7%

※連絡先不明者8名含む、会員一時資格停止者29名除く。

新規入会者（2015年10月16日～2016年2月28日）2名

	入会年月日	氏名	所属	区分	推薦者
1	2015/11/2	佐藤 光友	※所属非公開希望	一般	事務局
2	2015/11/27	園部 友里恵	※所属非公開希望	一般	事務局

退会者（2015年10月19日～2016年2月28日）3名

	退会日	氏名	所属	区分
1	2015/12/24	米田 陸王	筑波大学大学院教育研究科	学生
2	2016/2/16	澤本 和子	日本女子大学人間社会学部教育学科	一般
3	2016/2/18	木之下 浩一	大阪市立安立小学校	一般

研究・広報委員会からのお知らせ

第7回研究集会(最終案内)

下記のとおり、第7回研究集会を開催いたします。ふるってご参加ください。

本集会は、会員外にも公開しています。ご関心のある方々へのお声かけをお願いいたします。

日時：2016年3月19日（土）13：30－16：30

場所：京都教育大学 共通講義棟（F棟）1階 F12講義室
（〒612-8522 京都市伏見区深草藤森町1 京都教育大学）

参加費：無料

発表内容：

■細尾萌子先生（近畿大学・講師）

「フランスの学力評価から学ぶ ーコンピテンシー・アプローチの可能性と課題ー」

わが国では、知識の伝達から、実践的な資質・能力の育成・評価への転換が謳われており、コンピテンシーへの関心が高まっています。フランスでは、すでに1990年代に、コンピテンシーに基づく学力評価が広がり始め、現在では、コンピテンシー・アプローチの可能性と課題が明らかになりつつあります。

本発表では、フランスの中等教育における学力評価の展開を検討し、コンピテンシー・アプローチに関する日本への示唆について、ご報告いたします。

■黒田拓志先生（香川大学教育学部附属高松小学校・教諭）

「分かち合い、共に未来を創造する子どもの育成 ー2領域カリキュラムによる主体的、共感・協同的、創造的な学びの実現ー」

現在、文部科学大臣の諮問や教育課程企画特別部会の「論点整理」より、「資質・能力」、「アクティブ・ラーニング」、「カリキュラム・マネジメント」という言葉が注目されています。本校では、3年前に文部科学省の研究開発学校の指定を受け、いち早く資質・能力につながる主体的、協同的、創造的な学びの在り方と、それを実現するカリキュラム開発に着手してきました。

本発表では、その研究プロセスを提示するとともに、新カリキュラム構想から明らかになった成果と課題について、ご報告いたします。

司会者：中野和光（美作大学大学院人間発達学研究科教授）
黒田拓志（香川大学教育学部附属高松小学校教諭）

世話人・コーディネーター：小泉祥一（白鷗大学教育学部教授）
黒田拓志（香川大学教育学部附属高松小学校教諭）

問い合わせ先：白鷗大学教育学部 小泉研究室
電話：0285-22-9875（直通、ファックス兼用）
E-mail：koizumi@fc.hakuoh.ac.jp

交通アクセス案内

J R JR奈良線：「JR藤森駅」（じえいあーるふじのもり）下車 徒歩約3分
京阪電車 京阪本線：「墨染駅」（すみぞめ）下車 徒歩約7分

大学周辺図

<http://www.kyokyo-u.ac.jp/access/access02/>

キャンパスマップ（藤森学舎）

<http://www.kyokyo-u.ac.jp/campusmap/campus01.html>

会場：「⑫共通講義棟（F棟）」 1階 F12講義室

京都教育大学の正門を入り、30メートル直進し、十字路を左折します。
その50メートル先の左手の建物です。

事務局からのお知らせ

1. 寄贈図書一覧（2015年10月21日～2016年3月3日到着分）

	著者名	タイトル	出版社等	発行日	受領日
1	八尾坂 修	学校開発力と人(ひと)一人の存在・連携を重視した公教育の構築に向けて―	ジアース教育新社	2015/10/10	2015/10/22
2	八尾坂 修	教育における指導ラウンダーハーバードのチャレンジ―	風間書房	2015/10/31	2015/11/6
3	佐竹健治他	地殻災害の軽減と学術・教育	日本学術協力財団	2016/1/31	2016/2/18
4	原田 信之	ドイツの協同学習と汎用的能力の育成―持続可能性教育の基盤形成のために―	あいり出版	2016/2/15	2016/3/1
5	風巻 浩	社会科アクティブ・ラーニングへの挑戦―社会参画をめざす参加型学習―	明石書店	2016/2/29	2016/3/1

2. 平成27年度（2015年度）分 会費納入のお願い

今年度分の年会費が未納のは、納入をお願いします。3月11日時点での2015年度会費の納入率は88.2%です。納入促進に会員のみなさまのご協力をよろしくお願い申し上げます。

大会にて、自由研究発表を申し込まれる方は、平成24年11月の理事会で確認されました下記の点についてご理解の上、申込みを行ってください。

自由研究発表者は、共同発表者を含め、原則として当該年度までの年会費を大会終了時まで納入した会員でなければなりません。しかし、下記の「理由」により、大会受付で会費を納入することはできなくなりました。

新入会員で発表を希望される方は、発表申込み締切までに速やかに入会手続を完了してください。遅れますと資格不備により発表できません。

【理由】

会費納入に関わる事務は国際文献印刷社に委託しております。年会費の納入確認は会員による振り込みのシステムと連動しており、第23回大会より、現金での年会費納入のための窓口設置は行わないことにしました。この旨は事前に送付する発表プログラムにも記載いたします。

従来ですと、大会当日の終了時点までに、大会当日に設置された会費納入窓口で現金で年会費を納入すれば発表資格は満たされてきましたが、今大会より従来の納入方法では発表資格を確認できないことになりました。そこで、大変恐縮ですが、発表を申し込まれる皆様には、納入依頼が届き次第、6月12日（金）までに速やかに年会費の『前納』の振り込みをお願いいたします。

会費納入状況につき、ご不明の点がございましたら、ご遠慮なく（株）国際文献社内・日本カリキュラム学会会員窓口までお問い合わせください。

（年会費：一般 8,000円、学生 5,000円、団体 10,000円）

【 入・退会、年会費納入、会員 web 管理、会報発送等各種問い合わせ先 】

〒162-0801

東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター（株）国際文献社内
日本カリキュラム学会会員窓口

Tel : 03-5389-6213 Fax : 03-3368-2822

E-mail : jscs-post@bunken.co.jp

【 上記以外の学会運営に関する問い合わせ先 】

〒606-8501

京都市左京区吉田二本松町

京都大学高等教育研究開発推進センター 松下佳代気付

日本カリキュラム学会事務局

E-mail : jscs@nifty.com

【 学会ホームページ 】

URL : <http://jscs.b.la9.jp/>